

**＜資金需給＞**

単位 億円

	31日需給速報		4日需給予想	5日当社予想
	即日	金額	金額	金額
銀行券		▲ 1,200	1,000	1,000
財政		▲ 900	▲ 21,700	▲ 1,000
資金過不足		▲ 2,100	▲ 20,700	0
貸出				
売出手形				
0				
本店共通				
0				
全店共通				
0				
共通(固定)		4,700	1,600	4,900
88,460		▲ 9,700	▲ 2,900	▲ 10,100
国債買現				
0				
CP買現				
0				
国庫短期証買入				
国庫短期証売却				
国債買入		10,600		
CP等買入		3,700		
		▲ 2,500	▲ 200	
貸出支援基金(成長)				
38,608				
(増加) 159,053				
被災地支援				
3,255				
社債等買入		▲ 200		
ETF買入		100		
国債補充供給	即日	▲ 200	200	
小計		6,500	▲ 1,300	▲ 5,200
当預増減		4,400	▲ 22,000	▲ 5,200

当座預金残高	10/31以降の残り所要積立額
1,677,000	
準備預金残高	28,800
1,540,700	
積み終了先	11/4以降の残り所要積立額
1,270,600	
超過準備	積数
1,269,700	19,400
非準備先残高	1日平均
136,300	1,600
積み期間(10/16~11/15)の所要準備額(積数)	1,921,100
準備預金進捗率	98.99% (実績) 61.29% (日数)

10/30のマナタリーベース		2,589,800	
10/30コール	合計	179,370	無担 75,084 有担 104,286
コール前日増減	計	▲ 2,784	無担 295 有担 ▲ 3,079

10/31の加重平均レート(速報)				10/30の加重平均レート(確報)			
無担(平均)		有担(平均)		無担当日分		有担当日分	
0.045 ~0.125 (0.060)	0.030 ~0.040 (0.031)	CP気配a-1	短国	O/N	0.045 ~0.075 (0.059)	無担先日付分	有担先日付分
0.056 ~0.123 (0.065)				T/N		0.070 ~0.125 (0.108)	
				S/N			
0.055 ~0.400 (0.129)				1W		0.121 (0.121)	
0.250 (0.250)				2W		0.145 ~0.340 (0.210)	
				3W			
0.150 (0.150)		0.08~0.12	-	1M		0.118 ~0.170 (0.123)	有担先日付分
		0.08~0.12	-	2M			
		0.08~0.12	0.000~0.005	3M			
		-	-	6M			
		-	-	1Y			

**＜オペ情報、入札結果＞**

全店共通	15,000億円	11/5 ~ 2/13 (100日間)	応札	4,910億円	落札	4,910億円	0.100%	全取	平均	0.100% (固定)
国債補充	2,000億円	10/31 ~ 11/4 (4日間)	応札	150億円	落札	150億円	-0.400%	全取	平均	-0.400% (即)

**＜日銀金融政策決定会合・結果＞**

- マナタリーベース増加額の拡大(賛成5反対4)  
マナタリーベースが、年間約80兆円(約10~20兆円追加)に相当するペースで増加するように金融市場調節を行う。
- 資産買入れ額の拡大および長期国債買入れの平均残存年限の長期化(賛成5反対4)  
①長期国債について、保有残高が年間約80兆円(約30兆円追加)に相当するペースで増加するように買入れを行う。  
ただし、イールドカーブ全体の金利低下を促す観点から、金融市場の状況に応じて柔軟に運営する。  
買入れの平均残存期間を7年~10年程度に延長する(最大3年程度延長)。
- ②ETFおよびJ-REITについて、保有残高が、それぞれ年間約3兆円(3倍増)、年間約900億円(3倍増)に相当するペースで増加するように買入れを行う。新たにJPX日経400に連動するETFを買入れの対象に加える。  
CP等、社債等については、それぞれ約2.2兆円、約3.2兆円の残高を維持する(従来通り)。

11/4の日銀調節とレート予想					
日銀調節	見送り	当座預金残高	1,655,000	前日比	▲ 22,000
O/N	0.05~0.07	T/N	0.05~0.12	S/N	0.05~0.12

無担O/Nは、0.06%近辺での出合いが中心になると見込まれる。

**＜ 31日のインターバンク市場動向 ＞**  
午前8時発表の準備預金残高見込みは、前日比2兆2,000億円増加の127兆5,000億円(当座預金残高見込みは167兆8,000億円)。朝方の無担O/Nは、地銀・信託業態から0.057~0.058%、大手行から0.05~0.055%での調達希望で始まり、出合いの中心は、0.057~0.058%程度となった。一巡後は0.056~0.058%近辺での出合い。午後の取引は調整程度で一日の取引を終えた。ターム物については、ロール案件中心の取引となった。本日の共通担保オペは、期間3M・1兆5,000億円でおfferされた。結果は応札総額4,910億円の札割れとなり、オペ期落ち分の1兆140億円を下回った。

**＜ 31日のオープン市場動向 ＞**  
現先レートは小高く推移した。短国市場は、政策決定会合において「量的・質的金融緩和」の拡大の決定を受け、今後の短国買入オペ動向に不透明感が台頭し、0.005%で大量出合いが見られるなど小甘い展開となった。CP市場は、商社、鉄鋼、ノンバンク業態から大型発行案件がみられたことで、発行総額は2,000億円強(同償還総額1,500億弱)に膨らんだ。発行レートは横ばい圏での動きとなっていた。

- ＜ 3日の材料 ＞**  
\*米国9月の建設支出 \*米国10月のISM製造業景況指数
- ＜ 4日の材料 ＞**  
\*10月実績/11月見込み財政資金対民間収支  
\*米国9月の貿易収支 \*米国9月の製造業新規受注・出荷・在庫

＜コール10月の加重平均レート＞			
(土日を含む)	無担	0.05929%	有担 0.03035%
(営業日のみ)	無担	0.05900%	有担 0.03055%

JGB新発10年債	0.455	▲ 0.015
日経平均株価(終値)	16,413.76	755.56
為替(9時)	109.22-23	
為替(5時)	111.22-23	

O/N加重平均レートと日銀当座預金残高及び準備預金残高の推移						
日付	10/24	10/27	10/28	10/29	10/30	10/31
日銀当預残	1,654,600	1,641,000	1,673,100	1,674,200	1,672,600	1,677,000
準備預金残	1,516,800	1,501,700	1,532,600	1,527,000	1,528,500	1,540,700
レート	0.060%	0.059%	0.059%	0.059%	0.059%	0.060%
月中平均	0.05931%	0.05930%	0.05929%	0.05928%	0.05927%	0.05929%

「このレポートは、参考資料としてのみ作成しております。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。」

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入